

情報資源組織演習 新訂版 ユニット構成

UNIT 0 情報資源組織演習を学ぶ意義

◎情報資源組織演習の概要

UNIT 1 演習の教材および方針

◎記述目録法の総則

UNIT 2 目録法総則

UNIT 3 記述に関する総則(1)

UNIT 4 記述に関する総則(2)

option A 近年の情報資源組織化の動きと NCR

◎図書の記述

UNIT 5 各書誌的事項の記述(1)——タイトルと責任表示

UNIT 6 各書誌的事項の記述(2)——版, 資料の特性, 出版・頒布等

UNIT 7 各書誌的事項の記述(3)——形態, シリーズ

UNIT 8 各書誌的事項の記述(4)——注記, 標準番号

◎継続資料の記述

UNIT 9 継続資料の記述(1)——通則, タイトル～出版・頒布等

UNIT 10 継続資料の記述(2)——形態～標準番号, 所蔵事項

◎各種資料の記述

UNIT 11 地図, 録音および映像資料

UNIT 12 電子資料およびその他の資料

◎標目, 典拠および排列

UNIT 13 標目(1)——標目総則およびタイトル標目

UNIT 14 標目(2)——著者標目, 件名標目および分類標目

UNIT 15 典拠

UNIT 16 排列

◎コンピュータ目録

UNIT 17 図書館業務のコンピュータ化とコンピュータ目録, OPAC

UNIT 18 コンピュータ目録と OPAC の機能

option B 機械化・電算化と IT 化

option C オンライン目録／オンディスク目録

option D 索引語の自動抽出処理

◎MARC フォーマット

UNIT 19 MARC と UNIMARC

UNIT 20 NACSIS-CAT フォーマットと JAPAN/MARC フォーマット

◎目録作業

UNIT 21 コピー目録作業とオリジナル目録作業

◎例題および総合演習問題

UNIT 22 例題

UNIT 23 演習問題

◎メタデータ

UNIT 24 ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ

UNIT 25 メタデータの記述規則

UNIT 26 メタデータの流通

◎主題組織法

UNIT 27 主題組織法とはなにか

UNIT 28 主題分析とその表示

◎日本十進分類法 (NDC) の概要

UNIT 29 NDC の構成——主表, 補助表, 相関索引

UNIT 30 補助表の使い方(1)——形式区分

UNIT 31 補助表の使い方(2)——地理区分, 海洋区分, 言語区分

◎分類記号付与の実際(1): 分類作業

UNIT 32 分類作業

◎分類記号付与の実際(2): 一般分類規程

UNIT 33 一般分類

◎分類記号付与の実際(3): 一般分類規程演習

UNIT 34 一般分類規程演習 190

◎分類記号付与の実際(4): 分類表の改訂

UNIT 35 分類表の改訂

◎分類記号付与の実際(5): 各類別

UNIT 36 哲学・宗教 (1 類)

UNIT 37 歴史・伝記・地理 (2 類)

UNIT 38 社会科学(1)——政治・法律・経済ほか (3 類前半)

UNIT 39 社会科学(2)——社会・教育ほか (3 類後半)

UNIT 40 自然科学 (4 類)

UNIT 41 技術 (5 類), 産業 (6 類)

UNIT 42 芸術 (7 類)

UNIT 43 言語 (8 類), 文学 (9 類)

UNIT 44 総記 (0 類)

◎分類記号付与の実際(6): 分類総合演習

UNIT 45 分類総合演習問題

◎分類記号付与の実際(7): 所在記号

UNIT 46 図書記号, 別置記号の付与

◎件名法

UNIT 47 基本件名標目表の概略

UNIT 48 語の関係性

UNIT 49 細目

UNIT 50 件名規程と演習